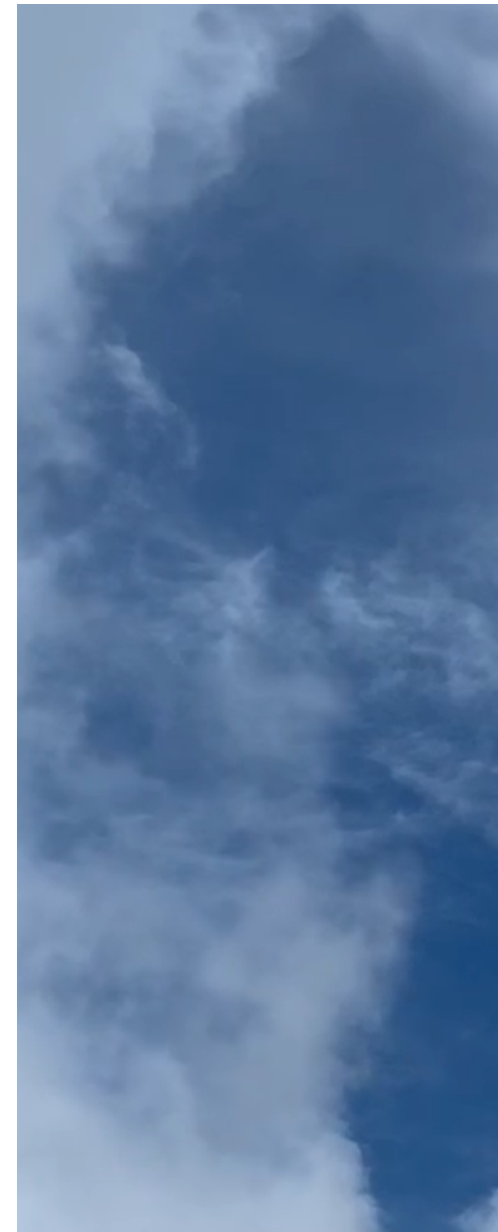


Workspace ONE UEM 2005 リリースハイライト

Workspace ONE UEM 1910 ~ 2005

WiZaaS

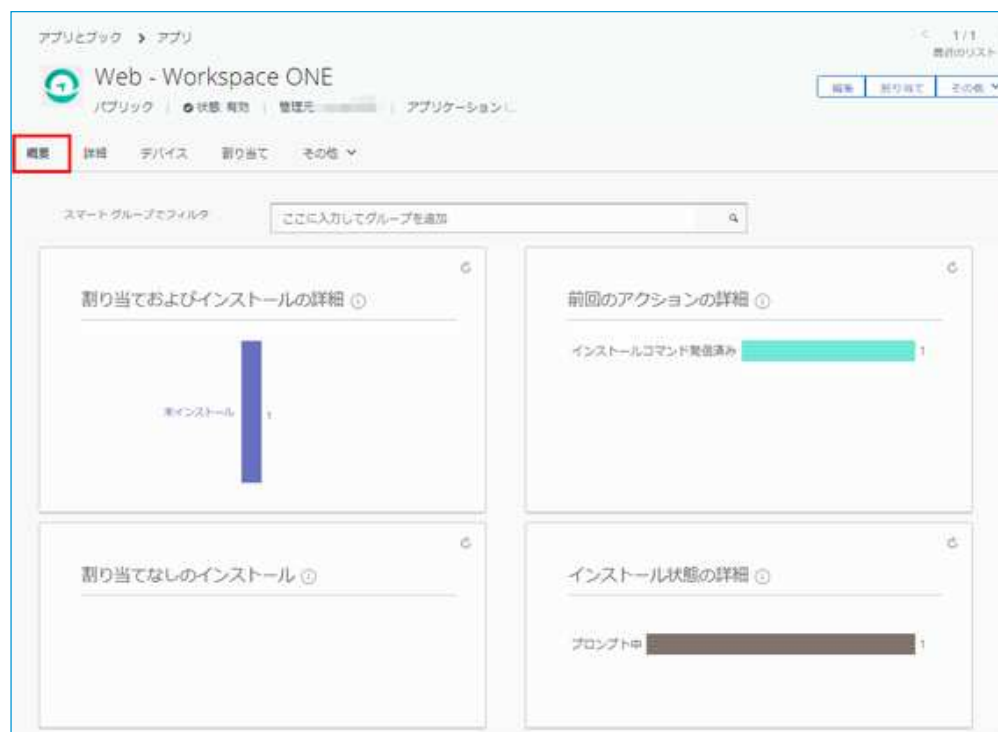
2020/07/06 Rev 2.0



WS1 UEM Console / アプリ管理 (概要タブ)

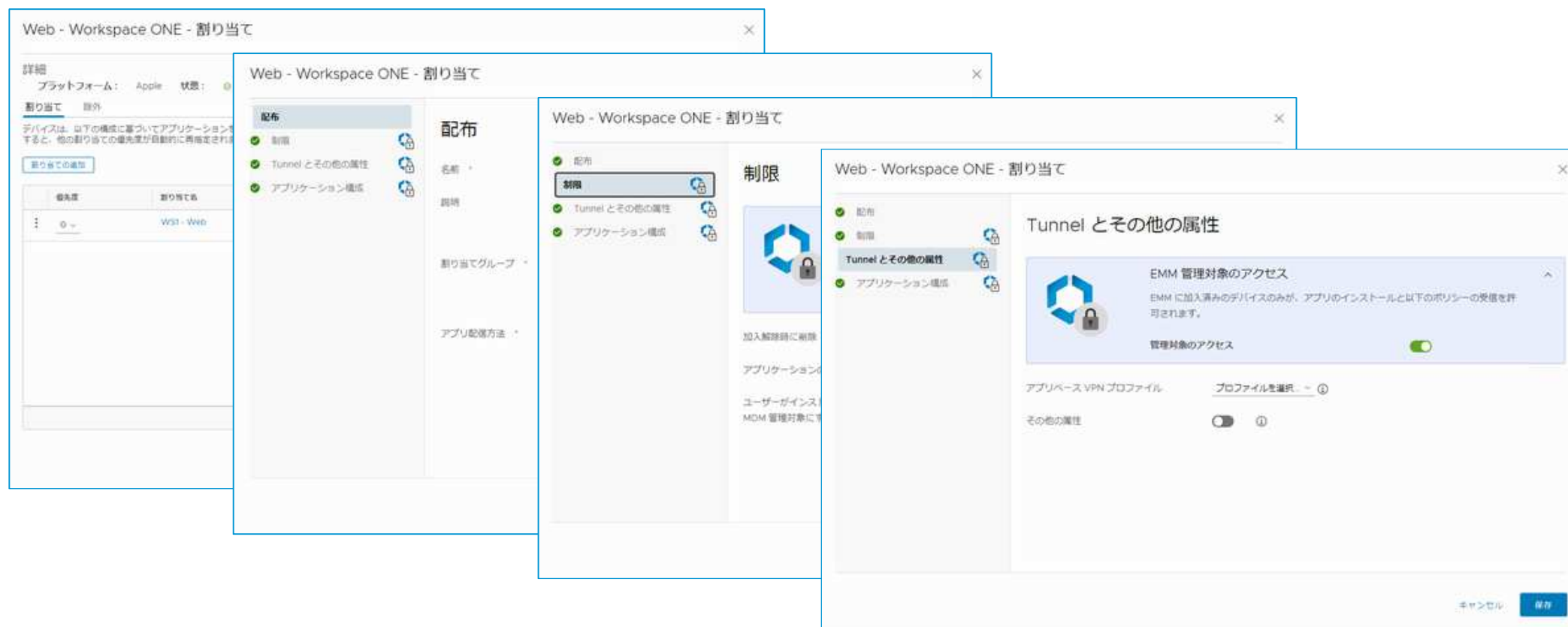
1910

[アプリ] > [詳細表示] に [概要] タブが追加されました。[概要] タブでは、アプリのインストール状態がグラフ化され、視覚的にアプリのインストール状態が追跡できるようになりました。



WS1 UEM Console / アプリ管理 (割り当て)

すべてのアプリケーションの割り当て画面が大幅に刷新されました。
より直観的にアプリケーション管理が行えるよう改善されました。



WS1 UEM Console / アプリ管理 (割り当て - VPP)

購入済み アプリ (Apple Business Manager アプリ、旧VPP) の割り当て画面も大幅に刷新されます。

WS1 UEM Console 1909

Intelligent Hub - 割り当てを編集

割り当て

ライセンスコードの割り当てはスマートグループによってのみ行うことができます

有効 グループの割り当て (スマートグループ) デバイス 割り当て済み 引き換え済み

All Devices @ WiZaaS 0 1 0

スマートグループのライセンスコード

新しいスマートグループを作成

割り当ての追加

展開

割り当てタイプ 自動 オンデマンド

保存 キャンセル

ライセンスの概要

合計:	4
保留中:	0
割り当て済み:	1
割り当てなし:	1
引き換え済み:	2

WS1 UEM Console 2005

Intelligent Hub - 割り当て

配布

名前 All_Device

説明 割り当ての説明

ライセンスの配布

スマートグループによる購入済みアプリのライセンス割り当て

割り当てグループ	割り当て済み	引き換え済み
誰にこのアプリを割り当てますか?	1	1

All Devices (name2005) X 1デバイス

追加

アプリ配信方法 自動 オンデマンド

キャンセル 保存

ライセンスの概要

合計:	1
保留中:	0
割り当て済み:	1
割り当てなし:	0
引き換え済み:	1

Apple Business Manager アプリ (旧VPP) ライセンスの割り当て機能に一部変更が出ております。詳細は VMware 社の Knowledge Base サイトをご参照ください。

<https://kb.vmware.com/s/article/2961458?lang=ja&queryTerm=VPP>

WS1 UEM Console / アプリ管理 (Boxer)

Workspace ONE Boxer アプリ (メールアプリ) の構成がより簡単に直観的に行えるよう Web UI が改善されました。

Boxer - Workspace ONE - 割り当て

制限
Tunnel とその他の属性
アプリケーション構成
E メール設定
アプリポリシー

> アプリパスコード
> データ漏洩防止
> Browser
> ユーザビリティ
> サポート
▼ 高度な設定

シングルサインオン (SSO) を有効にする ⓘ

ファイルの添付を許可 ⓘ

添付ファイルのダウンロードを許可 ⓘ

写真添付を許可 ⓘ

プレーンテキストモード ⓘ

キャンセル 作成

WS1 UEM Console / アプリ管理 (プライバシー)

1912

Workspace ONE UEM console で、個人アプリケーションのプライバシー設定を [収集しない] として構成した場合、個人アプリ情報はデバイスから収集されません。つまり、エンドユーザーの個人アプリケーション情報はデバイスから送信されません。

ただし、プライバシー設定には、アプリケーション リスト順守およびアプリケーション制御プロファイルの設定に影響を与える次の注意事項があります。

- アプリケーション リストの順守ポリシーでは、デバイスに適切なアプリケーション（ブラックリスト設定、ホワイトリスト設定、または必須）があることが確認されます。システムがアプリケーション リストをクエリしない場合、それらのアプリケーションが確認されないことがあります。その結果、特定のブラックリスト アプリケーションを含んだデバイスが「非順守」としてマークされません。同様に、特定の「必須」（個人）アプリケーションを含んだデバイスが「非順守」としてマークされます。
- 「ブラックリストに設定された」アプリに対するアクションを持つアプリケーション制御プロファイルは、個人アプリのプライバシーが [収集しない] に設定されているデバイスには適用されず、個人アプリ情報を収集するデバイスにのみ適用されます。

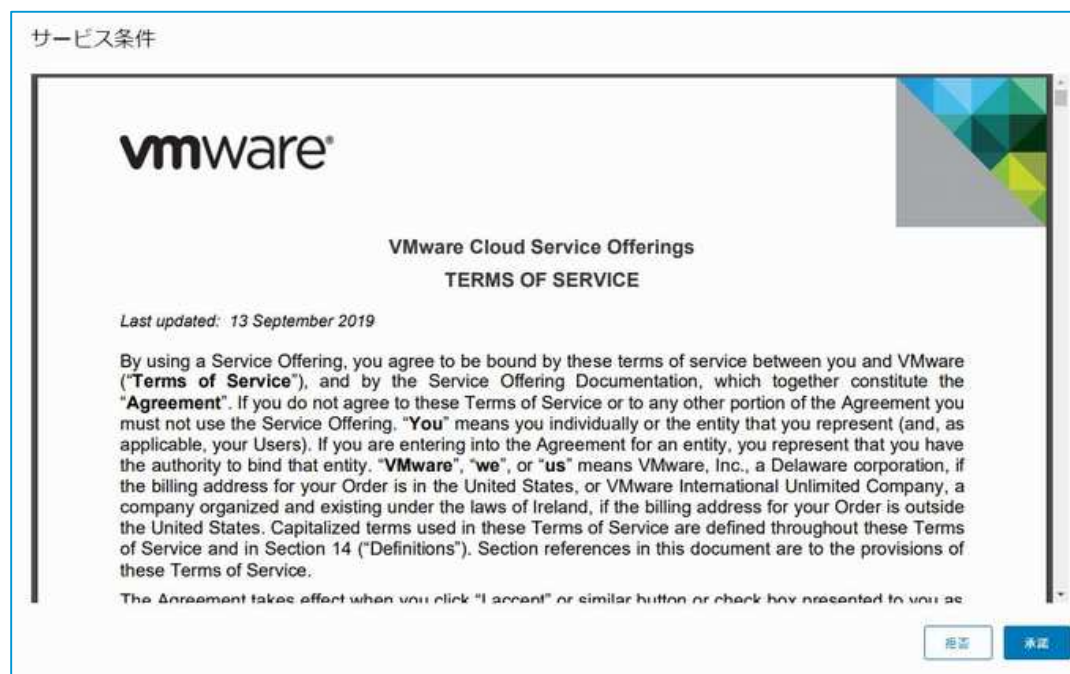
エンドユーザーの個人アプリケーション リストに対してアクションを実行する場合は、対象のデバイス所有形態タイプに対する個人アプリ プライバシー構成をすべての組織グループで追跡し、次を確認します。

- 構成が [収集しない] に設定されていないことを確認します。エンドユーザーのプライバシーを確保し、悪意のあるアプリケーションが検出されるようにする場合は、プライバシー構成を [収集するが表示しない] に設定します。
- アクションの実行対象となるアプリケーションを Workspace ONE UEM から受け取る資格がエンドユーザー デバイスにあることを確認します。

https://docs.vmware.com/jp/VMware-Workspace-ONE-UEM/services/Application_Management/GUID-412DEBC7-8E3E-4FE4-99C4-75123E9E4C10.html から抜粋

WS1 UEM Console /サービス利用規約

はじめて Workspace ONE UEM へ管理者がログインする、または、Workspace ONE UEM SaaS のアップグレード後に管理者がログインする際に表示される利用規約が「VMware Cloud Service 製品のサービス利用規約 (TOS)」に変更されました。



弊社提供の「WiZaaS エンドユーザーライセンス契約」は下記サイトよりダウンロードをお願いいたします。
<https://wizaas.co.jp/support/download/#m05>

WS1 UEM Console / デバイスリスト表示 (フィルタ)

2001

デバイス リスト表示でデバイスに対してフィルタリングが機能する方法が大幅に改善されました。必要なフィルタを選択後、[適用]ボタンを選択するまでデバイスリストは更新されなくなりました。デバイスのフィルタリングが[適用]ボタンを選択後、一回で行われスムーズに画面に表示されます。



WS1 UEM Console / デバイスリスト表示 (WiFi SSID)

2001

デバイス リスト表示のカスタムリストに、Wi-Fi のサービス セット識別子 (SSID) の列が追加されました。同じ WiFi に接続している管理対象デバイスの抽出が可能となりました。



WS1 UEM Console / デバイスリスト表示 (Android)

2004

デバイス リスト表示のカスタムリストに、Android 管理の列が追加されました。
Android デバイスの管理状態の確認がスムーズになります。



WS1 UEM Console / スマートグループ (Windows)

Windows デバイスのスマートグループ作成時に使用できる便利なカテゴリ [OEM] が加わりました。[OEM] を利用することによりデバイスメーカーのグルーピングが可能となります。

新しいスマートグループを作成

名前

管理元

タイプを選択

プラットフォームと OS ① 1 個選択済み

Windows デスクトップ

OEM とモデル ① 任意

Windows デスクトップ

OEM

モデル Panasonic Corporation

HP

EPSON DIRECT CORP.

モデル LENOVO

エンター Dell Inc.

管理タイプ ① 任意

デバイスプレビュー

パフォーマンスを向上させるには、ライブ表示を無効にしてください。

WS1 UEM Console / スマートグループ (Windows AAD)

2003

Windows デバイスのスマートグループ作成時に使用できる便利なカテゴリ [Windows AAD 加入済み] が加わりました。Azure AD と連携して加入したデバイスのグルーピングが可能となります。

新しいスマートグループを作成

名前: Windows - AAD 加入済み
管理元: numa2005

タイプを選択: デバイスプレビュー:

加入カテゴリ (1 個選択済み)

- ☐ 任意
- ☒ 選択
 - ☐ Apple - DEP 加入済み
 - ☐ Apple - ユーザーによって承認された MDM に加入しました
 - ☐ Apple - 監視対象
 - ☐ Apple - EDU 共有 iPad モード
 - ☐ Android (Legacy)
 - ☐ Android Enterprise
 - ☒ Windows - AAD 加入済み

パフォーマンスを向上させるには、ライブ表示を無効にしてください。

WS1 UEM Console / Content Gateway on UAG

2003

UAG で稼働している Content Gateway の構成を、Workspace ONE UEM Console から作成、展開が可能となりました。この機能により UAG 側 (オンプレ、および、パブリッククラウド側インフラ)での構成の変更作業が軽減されます。



Content Gateway 構成

パブリック SSL 証明書
(Linux 展開に必要です) ⓘ

SSL エラーを無視する
(推奨しません) ⓘ

SSL オフローディング ⓘ

カスタム ゲートウェイ設定 ⓘ

キー	タイプ	値
aw.fileshare.client.dom	String	wizaas.com

WS1 UEM Console / Tunnel on UAG

UAG で稼働している Tunnel の構成を、Workspace ONE UEM Console から作成、展開が可能となりました。この機能により UAG 側 (オンプレ、および、パブリッククラウド側インフラ)での構成の変更作業が軽減されます。

グループと設定

新しいトンネル構成

[保存](#) [キャンセル](#) [インストーラをダウンロード](#)

ホスト名

ポート

>	サーバー認証	AirWatch
>	クライアント認証	AirWatch
>	ネットワーク	無効
>	ログ収集	無効
>	カスタム設定	1 カスタム設定

構成キー	構成値
keepalive_timeout	1200

WS1 UEM Console / ACC 自動更新

[システム] > [エンタープライズ統合] > [Cloud Connector] で自動更新が有効になっている環境では、ACC (AirWatch Cloud Connector) がインストールされているサーバーの .NET Framework を .NET Framework 4.8 にアップグレードする必要があります。

システム > エンタープライズ統合

Cloud Connector ⓘ

全般 高度な設定

現在の設定 ☐ 継承 ☒ オーバーライド

AirWatch Cloud Connector を有効にする ☒ 有効 ☐ 無効
エンタープライズ コンポーネントへのセキュアな接続の有効化

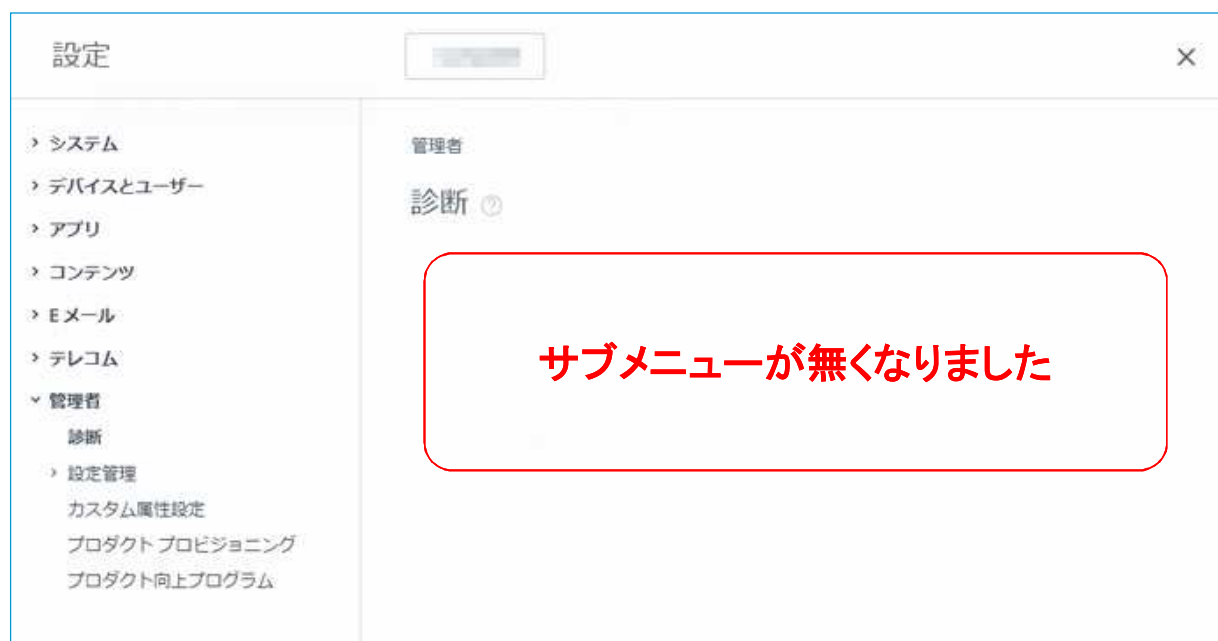
自動更新を有効化 ☒ 有効 ☐ 無効
自動更新を有効にすると、該当する AirWatch Console インスタンスが新しいバージョンにアップグレードされた後、サーバー上にインストールされた AirWatch Cloud Connector をシームレスに更新します。

※.NET Framework 4.8 へアップグレードを行わないと ACC の自動更新は失敗しますが、更新されない状態の ACC (旧バージョン)が起動しサービスを提供します。

WS1 UEM Console / 診断

[すべての設定] > [管理者] > [診断] の下のシステムヘルプページは提供されなくなりました。[診断] では、AirWatch Cloud Connector の正常性情報を提供していました。

[すべての設定] > [システム] > [エンタープライズ統合] > [Cloud Connector] の [接続のテスト] で正常性情報と同等の情報が提供されます。



Apple iOS/ OS 管理

新しいフレームワークで iOS デバイスの OS のアップデート管理機能が追加されました。

- デバイスで使用可能なあらゆる iOS アップデートのデバイスでのダウンロードおよびインストールを強制できます。(監視対象デバイスのみ)
- デバイスへの各アップデートの展開を追跡し、特定のデバイスを分析してデバイスのアップデートのより詳細な一覧を確認することが可能となりました。
- 各アクションが完了した時点でデバイス利用者への通知機能も追加されました。

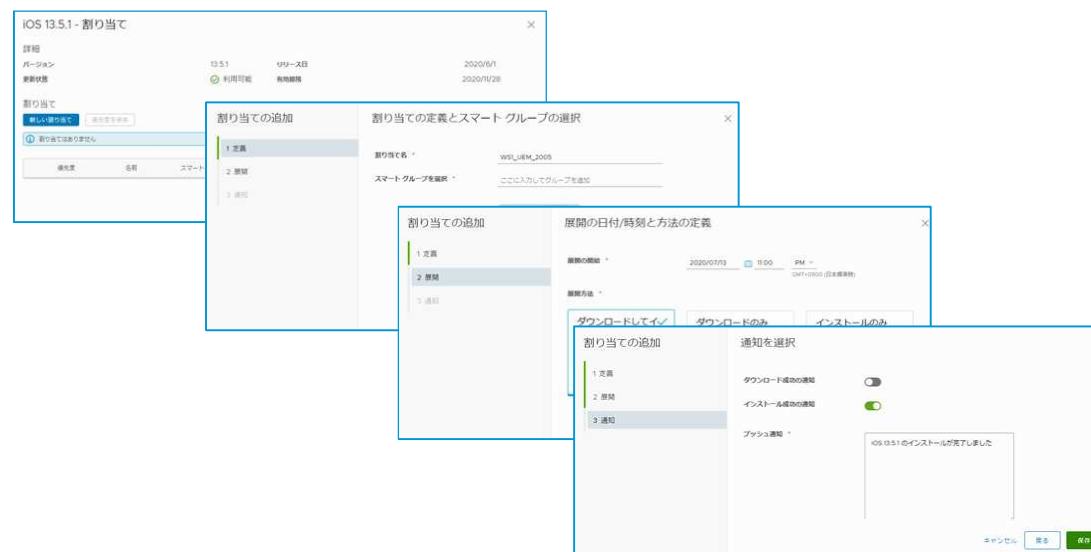
デバイス更新

Windows OEM 更新プログラム **iOS**

割り当ての管理 一時停止

更新	バージョン	リリース日	有効期限	更新状態	割り当て	割り当て状態
iOS	13.5.1	2020/6/1	2020/11/28	利用可能	0	割り当てなし
iOS	13.5	2020/5/20	2020/11/26	利用可能	0	割り当てなし
iOS	13.4.1	2020/4/7	2020/11/4	利用可能	0	割り当てなし
iOS	13.4	2020/3/24	2020/9/20	利用可能	0	割り当てなし
iOS	13.3.1	2020/2/4	2020/8/2	利用可能	0	割り当てなし
iOS	13.3	2019/12/17	2020/6/7	情報なし	0	割り当てなし
iOS	12.4.7	2020/5/20	2020/11/28	利用可能	0	割り当てなし
iOS	12.4.6	2020/3/24	2020/11/4	利用可能	0	割り当てなし
iOS	12.4.5	2020/2/4	2020/8/2	利用可能	0	割り当てなし
iOS	12.4.4	2019/12/17	2020/6/7	情報なし	0	割り当てなし

1 - 10/0



※本機能は OS アップデートの抑止機能ではございません。

Apple iOS / 構成プロファイル (iOS13.1)

iOS 13.1 から追加された機能制限の UI が追加されました。(監視対象)

- Wi-Fi を強制的にオン
- ファイルアプリからネットワークドライブへのアクセス許可



Apple iOS / 構成プロファイル

iOS 13.4 から追加された機能制限の UI が追加されました。

- 廃止された TLS バージョンを許可
- 共有デバイスの一時的なセッションを許可



共有iPadの一時セッション

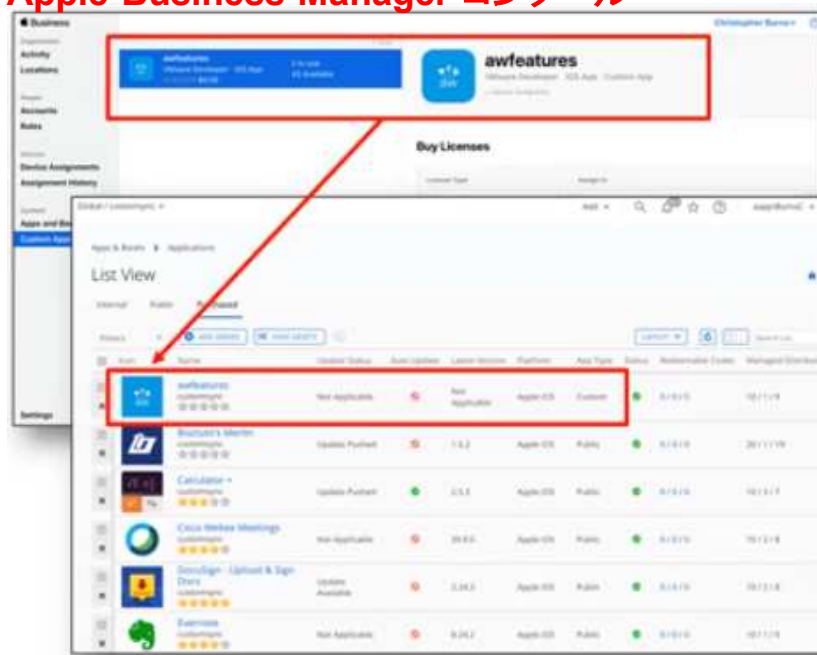
iPadOS 13.4以降では、ログイン画面で「ゲスト」をタップすると、すべてのユーザがユーザ名やパスワードを使用せずに一時セッションを開始できます。ユーザのすべてのデータ(閲覧履歴など)はユーザがサインアウトすると削除されます。一時セッションでは、すべてのユーザがパスワードなしでiPadのロックを解除してアクセスできます。

<https://support.apple.com/ja-jp/guide/mdm/cad7e2e0cf56/1/web/1#mdm6e1d78ad8>

Apple iOS / カスタムアプリ

Apple Business Manager で展開しているカスタムアプリ(自社開発アプリ)のメタデータを Workspace ONE UEM へ自動的に同期する機能が追加されました。手動で行っていたカスタムアプリのメタデータの設定およびアップロード作業が不要になります。

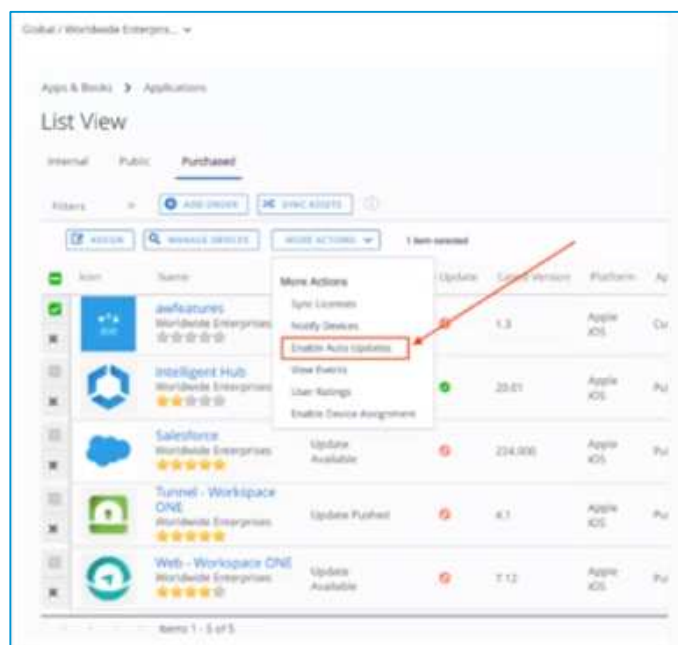
Apple Business Manager コンソール



Workspace ONE UEM コンソール

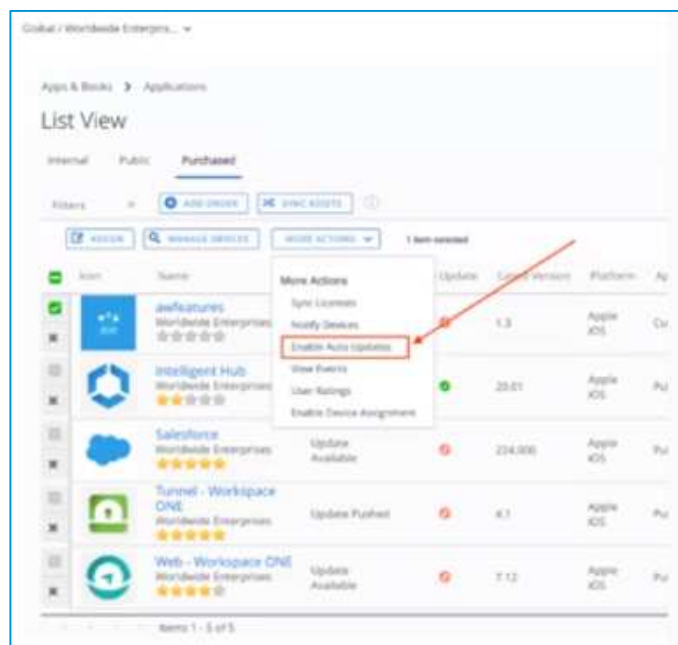
Apple iOS / カスタムアプリ

Apple Business Manager で展開しているカスタムアプリ(自社開発アプリ)のアップデート機能が追加されました。カスタムアプリが割り当てられているデバイスに対してアプリ設定を変更することなく、新しいバージョンのアプリを展開することが可能になりました。



Apple iOS / カスタムアプリ

Apple Business Manager で展開しているカスタムアプリ(自社開発アプリ)の自動更新機能が追加されました。パブリックアプリと同様に自動更新の管理が行えます。



Apple iOS / アプリ管理 (ABM ライセンス管理)

アプリ リスト表示画面から、Apple Business Manager (旧称 VPP) から同期されたアプリのユーザーベースのライセンスを、デバイスベースのライセンスに変換が行える機能が追加されました。複数のアプリを選択してライセンスの変換を行う事も可能です。



Apple iOS / アプリ管理 (Apple Business Manager)

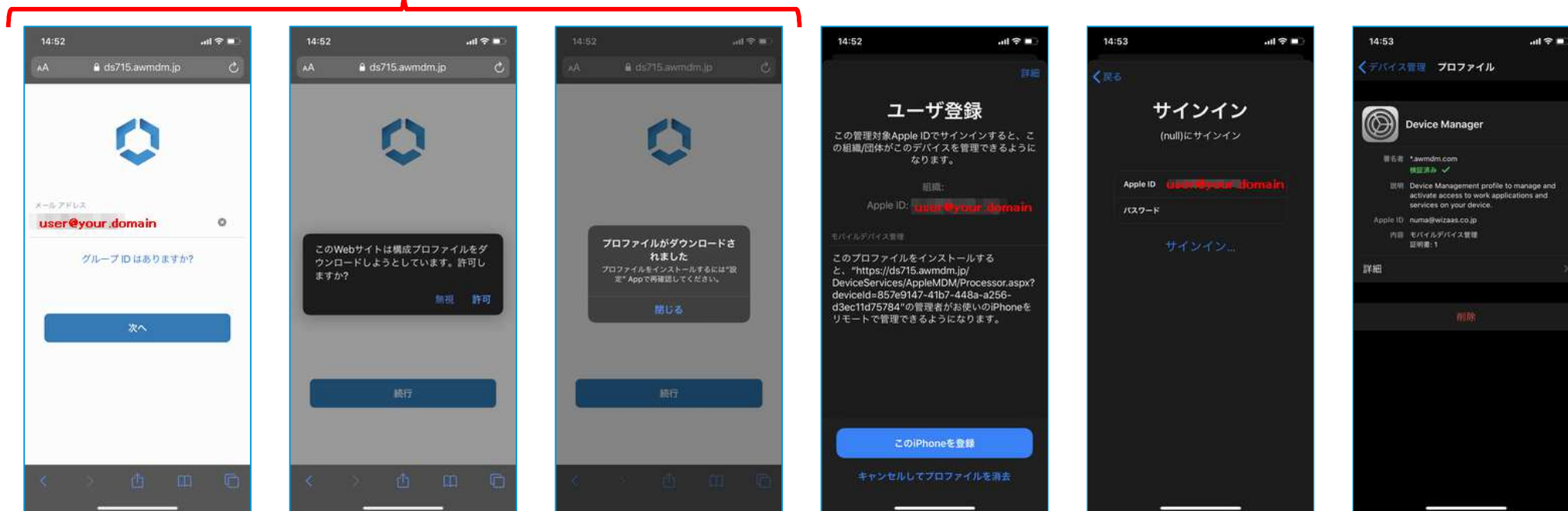
2005

Apple Business Manager で展開したアプリのライセンス管理に変更されました。デバイス利用者によって手動で削除された iOS アプリのライセンスは、自動的に失効されて、再配布可能になります。

Apple iOS / User Enrollment

iOS BYOD 向けユーザーエンロールメントの Web UI が刷新されました。
Workspace ONE Intelligent Hub アプリと同様のデザイン画面となります。

刷新された Web UI



操作の流れ

Android / 構成プロファイル (Launcher)

Android Launcher プロファイルで、ホームの有効化/無効化 (Launcher シングルアプリモードのみ)、およびキーガード (ロック画面) オプションの有効化/無効化を指定できるようになりました。

The screenshot shows the '設定' (Settings) screen for an Android Launcher profile. Under the 'ユーティリティ' (Utility) section, there are several toggle switches for enabling or disabling various features. The 'ホームボタンを許可' (Allow Home button) and 'キーガードを許可' (Allow Keyguard) options are highlighted with a red rectangle, indicating they are the focus of the update. The 'ホームボタンを許可' option is currently set to '有効' (Enabled) and is available for 'Android 9.0+'. The 'キーガードを許可' option is also set to '有効' (Enabled) and is available for 'Android 9.0+'. Other options include 'アプリマネージャを許可する' (Allow app manager), 'Launcher 設定を許可する' (Allow launcher settings), '通知バーを許可' (Allow notification bar), and '電源オプションを許可する' (Allow power options).

設定項目	有効	無効	バージョン
アプリマネージャを許可する	☒	☐	Android 6.0 and Android 6.0.1
ホームボタンを許可	☒	☐	Android 9.0+
キーガードを許可	☒	☐	Android 9.0+
Launcher 設定を許可する	☒	☐	
通知バーを許可	☒	☐	
電源オプションを許可する	☒	☐	Samsung その他 1 個

保存

Android/ 構成プロファイル (パスコード)

強固ではない認証方法、および、パスコードの変更通知に関するセキュリティが強化されました。

- パスコード変更アラート: パスコードの有効期限が切れるまでの時間を指定できます。この時間により、ユーザーにパスコードの変更が通知されます。
- パスコード必要範囲: デバイスが強固ではない認証でロック解除されてからユーザーにパスコードの入力を求めるまでの時間を指定できます。

新しいAndroidプロフィールを追加

Work パスコードポリシーを有効化 ☒ ⓘ

Android 7.0+ Work Profile

パスワード最少文字数 * 4 ⓘ

パスワードのコンテンツ * 数字 ⓘ

試行失敗回数の上限 -- ⓘ

パスワードの有効期限(日) ⓘ

パスワード変更アラート No Alert ⓘ

パスワード履歴 ⓘ

Work プロファイル ロック タイムアウト(分) ⓘ

パスワード必要範囲(分) ⓘ

Android 8.0+ ⓘ

Android 9.0+ ⓘ

ワンロックを許可 ☒ ⓘ

保存して公開 キャンセル

Android / 構成プロファイル (Google Play 制限)

管理対象外の Google Play アクセスを制限するか許可するかを選択する機能が追加されました。また、Google Play で使用できるアカウントのリストの指定も可能です。



Android / 構成プロファイル (ファイル共有制限)

個人アプリが業務アプリとデータを共有することを制限する機能が追加されました。この機能により、個人がインストールしたアプリから、ファイル、画像、および、データを管理アプリで共有することができなくなります。



Android / 構成プロファイル (ウィジェット)

デバイス利用者が Work プロファイルに追加されたアプリのウィジェットの利用制限機能が追加されました。ウィジェットで利用を許可する場合は、パッケージ名をリストに追加します。



Android / Work プロファイル (ワイプコマンド)

管理対象デバイスの Work プロファイルを削除 (企業情報ワイプ) を実行する際にデバイス利用者へのメッセージを送る機能が追加されました。

制限された操作 - 企業情報ワイプ

オペレーティングシステム8.0.0

Eメール

表示モデルAndroid

組織グループ

このオプションのメッセージは、Work プロファイルが削除された理由を説明するために Android デバイスでエンドユーザーに表示されます。

理由

例) デバイスリプレースの為、加入解除します。

セキュリティ暗証番号:

セキュリティ暗証番号をお忘れですか?

キャンセル

WiZaaS Co.,Ltd. ©2020 All Rights Reserved.

31

Android / Android 10 の加入

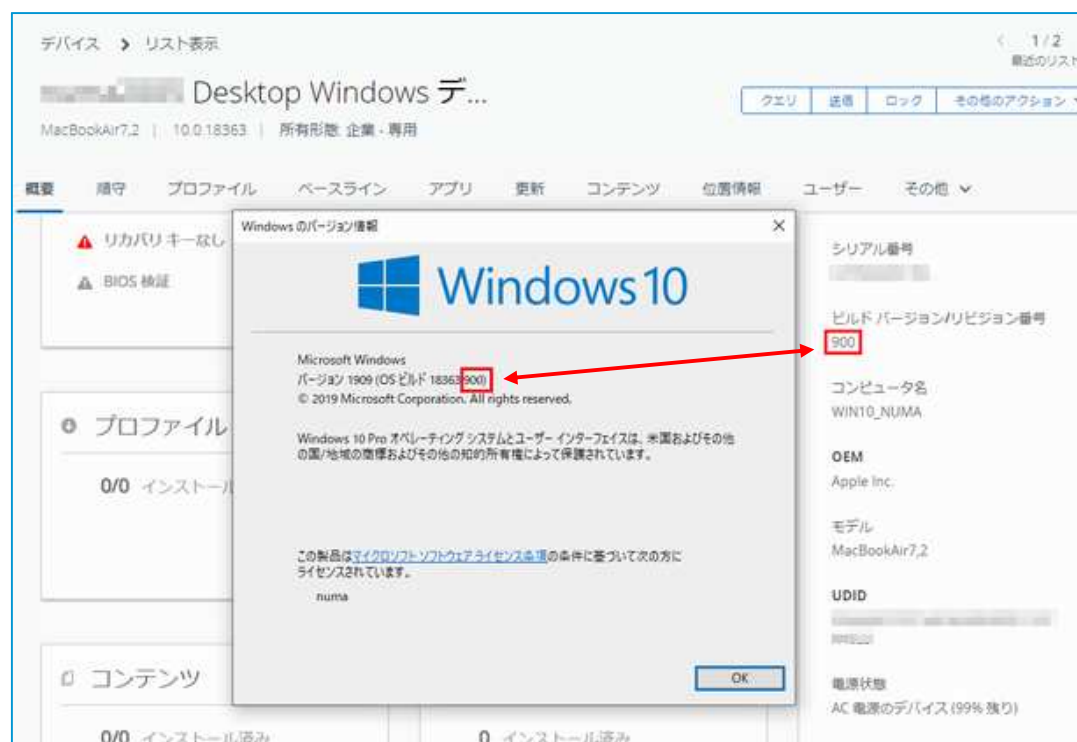
Android 10 以降のデバイスにおいて加入処理のシーケンスが変更されます。

Android 10 以降のデバイスを Work プロファイル モードに加入させると、評価期間中、IMEI とシリアル番号が収集できるまで、デバイスの加入状態は保持されます。デバイスは、IMEI またはシリアル番号が加入のホワイトリストまたはブラックリストにあるかどうか UEM Console で確認されるまで、「加入保留中」として UEM Console に表示されます。これによって、加入制限が評価されるまで、作業データ（アプリ、プロファイルなど）が Android 10 以降のデバイスに送信されないようにしています。



Windows 10 / デバイス詳細表示

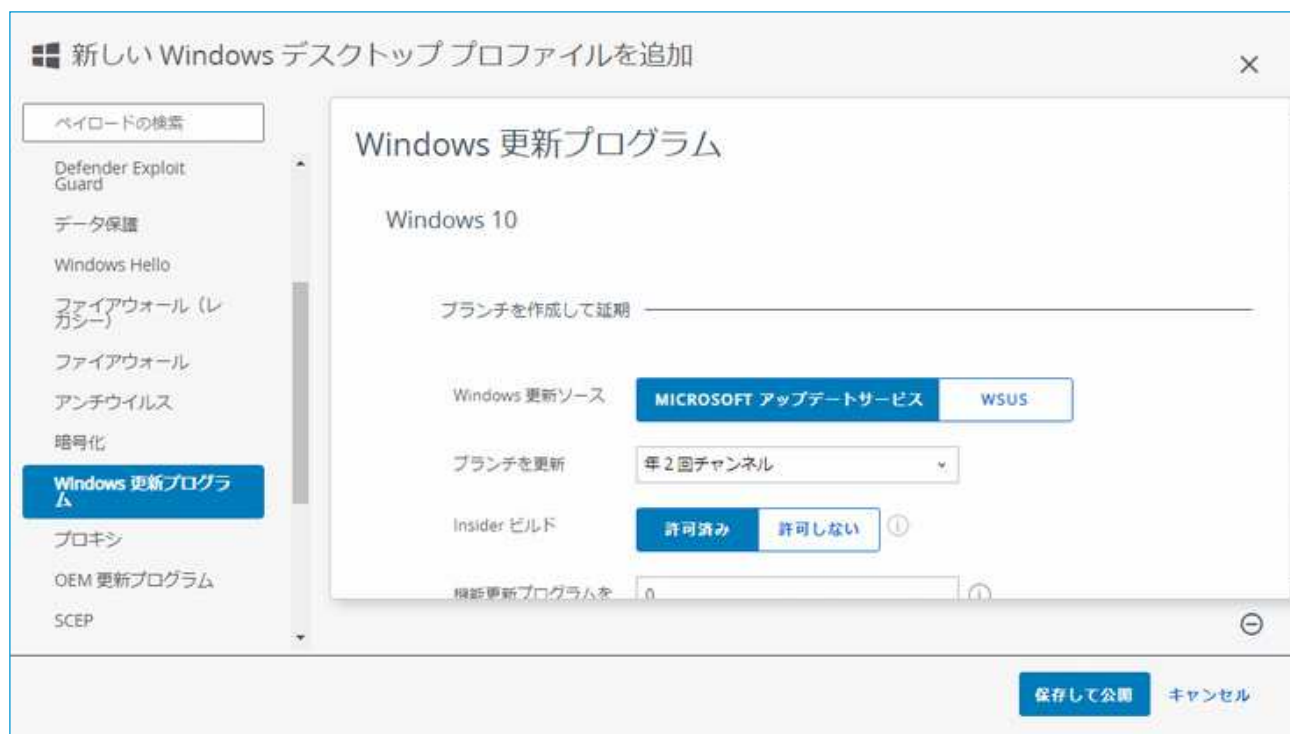
Windows 10 デバイスが使用しているビルドを確認できる機能が追加されました。



Windows 10 / 構成プロファイル (Windows Update)

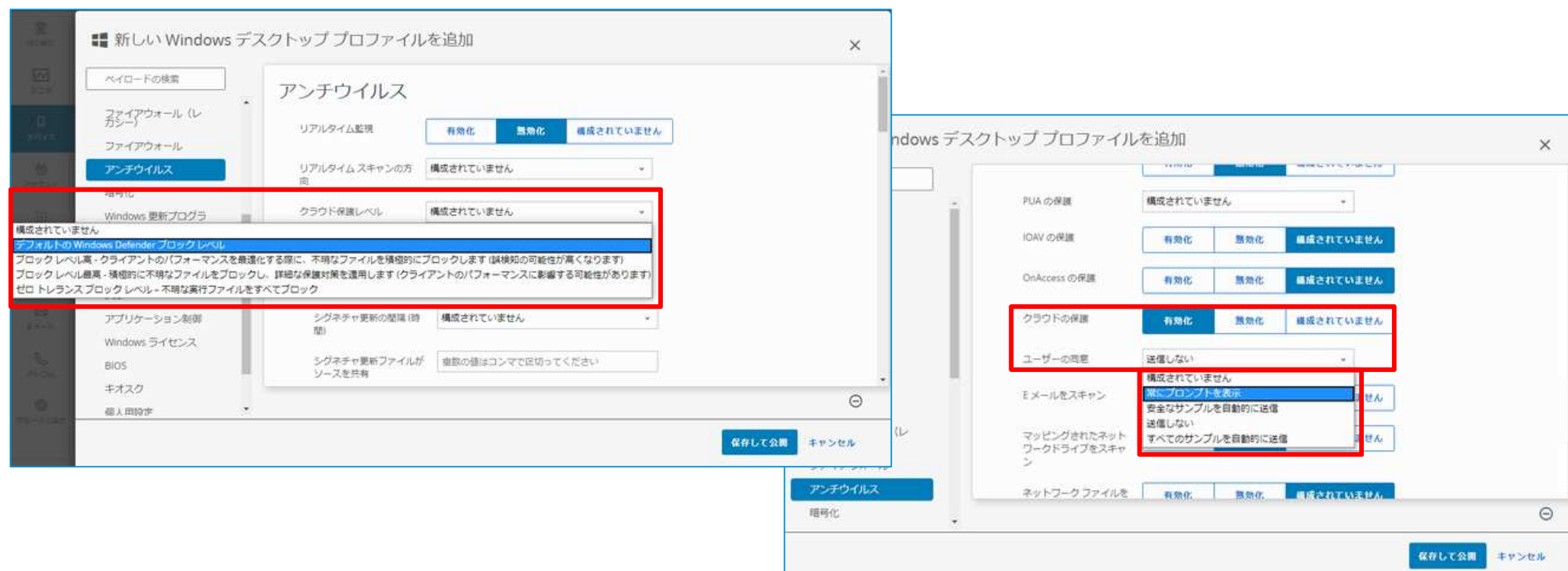
1912

Windows 10 の Windows Update 構成プロファイルの Web UI を刷新されました。
管理者の操作性向上、および、廃止された機能の削除を行いました。



Windows 10 / 構成プロファイル (Windows Defender)

Windows Defender ウイルス対策システムの構成プロファイルにクラウド配信の保護レベル (UEM コンソール内表記 「クラウド保護レベル」)、クラウド保護、およびユーザーの同意を指定する機能が追加されました。



Windows 10 / 構成プロファイル (BitLocker)

暗号化 (BitLocker) の構成プロファイルに暗号化を常に維持できる機能が追加されました。プロファイルの削除後、デバイスのワイプ後、または Workspace ONE UEM との通信が中断した後も、Windows 10 デバイスに引き続き暗号化が適用されます。



Windows 10 / アプリ管理

Windows 10 の Win 32 アプリ管理設定に [望ましい状態の管理] が追加されました。この機能を有効にすることにより、デバイス利用者側がアンインストールを行っても自動的に再インストールが行われます。

ただし、アプリ配信方法が [自動] の設定になっていることが前提となります。



Windows 10 / センサー

Windows 10 デバイスの、ハードウェア、OS、などの情報を追跡するためのセンサー機能にデバイス アーキテクチャの指定が行えるよう機能が追加されました。この機能追加により、64 ビット デバイスでセンサーを使用するときのエラーが低減できます。



※センサーを利用するためには、Workspace ONE Intelligence が必要です。

Windows 10 / アプリ管理

Win 32 アプリ展開設定時に、.exe タイプ、および .zip タイプの実際のアプリケーションバージョンおよびバージョンフィールドを編集できるようになりました。この新機能は、初回 .exe ファイルまたは .zip ファイルをアップロードするときのみ適用されます。

アプリケーションの編集 - Firefox Installer.exe v 1...

社内 | 管理元: numa2005 | アプリケーション ID: {5c6449bc-4b4f-4377-b661-c00ba32233f0} | ...

詳細 ファイル 展開オプション 画像 利用規約

管理元: numa2005

アプリケーション ID*: {5c6449bc-4b4f-4377-b661-c00ba32233f0}

実際のファイルバージョン*: 77.0.1 ⓘ

ビルドバージョン: {5c6449bc-4b4f-4377-b661-c00ba32233f0}

バージョン: 77 . 0 . 1 ⓘ

サポートされているプロセッサアーキテク: 64-bit ⓘ

保存して取り当て キャンセル

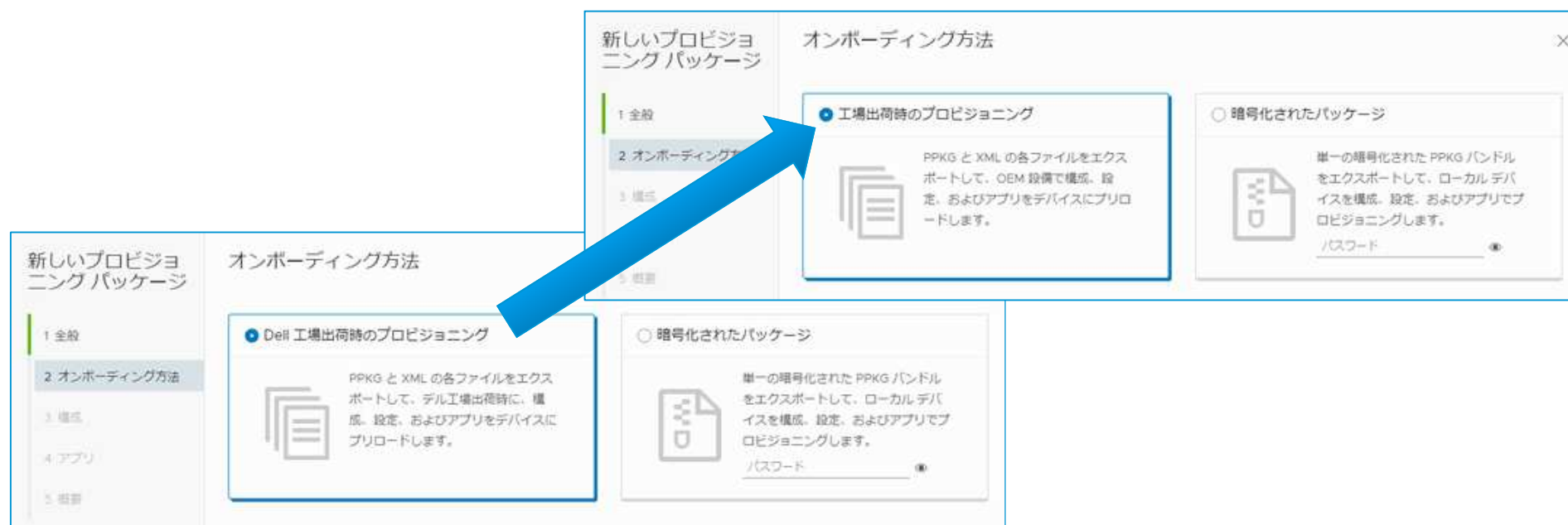
Windows 10 / アプリ管理 (ピアツーピア)

Windows 10 向け社内アプリ (Win32 アプリ) の [概要] タブに、ピアツーピア配布を使用してアプリケーションをダウンロードしたデバイスの数、ダウンロードされたデータの量、およびダウンロードされたデータのソースに関する警告が表示される機能が追加されました。



Windows 10 / Factory Provisioning

「VMware Workspace ONE 用 Dell Provisioning」の名前が「Factory Provisioning」に変更されました。プロビジョニング機能に変更はありません。



Windows 10 / ベースライン（除外割り当て）

Windows 10 デバイスにベースラインを割り当てるときに、割り当てから特定のスマート グループを除外できる機能が追加されました。

×

ベースラインの割り当て

ベースラインを割り当てるスマートグループを選択します。特定のグループを除外するには、[除外] を選択します。公開されているベースラインに除外を追加すると、そのベースラインは除外されたデバイスから削除されます。

割り当て

除外

スマートグループを検索するにはここに入力

除外するスマートグループ


スマートグループが選択されていません

キャンセル

公開

Tunnel / デバイストラフィック規則 (MacOS)

macOS の Workspace ONE Tunnel 用にデバイス トラフィック規則のサポートを追加されました。他のプラットフォームと同様に柔軟なデバイストラフィック規則が利用できます。

デバイス トラフィック規則

VMware Tunnel を使用してネットワーク トラフィックをトンネル、ブロック、またはバイパスします。これらの規則は、Android デバイス、iOS デバイス、macOS デバイス、および Windows デバイス コンポーネントのみに適用されます (iOS の場合は、App Store で入手できる VMware Tunnel アプリにインストールされた VMware Tunnel アプリケーションは、このページで指定した規則にバイパスします。さらに、ネットワーク トラフィックをネットワークで構成されたカスタム Web プロキシに転送します)。

ランク ⓘ	アプリケーション	アクション
1	他のすべてのアプリケーション	TUNNEL

デバイス トラフィック規則を追加 ⓘ

WINDOWS または MacOS アプリケーションを追加 ⓘ

アプリケーションを追加

アプリのトラフィック ポリシーを設定するためにアプリケーションの詳細を追加します。

プラットフォーム * macOS ⓘ

フレンドリ名 * Google Chrome ⓘ

パッケージID * パッケージID ⓘ

指定要件 * 指定要件 ⓘ

パス * パス ⓘ

キャンセル 保存 保存して公開

HTTP/2 の APNs 対応について

Apple 社は 2020 年 11 月以降、レガシー Apple Push Notification Service (APNS) インターフェイスのサポートを終了いたします。

現在ご利用中の Workspace ONE UEM SaaS (cn1.dcl-mdm.com) では、すでに HTTP/2 の対応が完了しております。また、Workspace ONE UEM SaaS 2005 へアップグレード後も引き続き APNs 通信は HTTP/2 を利用します。お客様は特に変更する必要はございません。

<https://kb.vmware.com/s/article/78976?lang=ja>

<https://developer.apple.com/jp/news/?id=11042019a>

ゲートウェイサーバーのサポート終了について

- Workspace ONE UEM 1909の際に構築、更新を行ったお客様
 - ・ AirWatch Cloud Connector (ACC)
 - ・ VMware Tunnel
 - ・ Secure Email Gateway (SEG)

サポート終了日: 2021年 4月 21日

- UAG (Unified Access Gateway) をご利用のお客様
お客様がご利用いただいている UAG バージョンと WS1 UEM 1909 の相互運用マトリックスをご確認いただけますようお願いいたします。

https://www.vmware.com/resources/compatibility/sim/interop_matrix.php#interop&382=&326=&hideEmpty=false&hideUnsupported=false

サポート終了までに、アップグレードのご検討をいただけますようお願いいたします。

Workspace ONE UEM 2005 リリーススケジュール

弊社提供の VMware Workspace ONE UEM は下記日程でアップグレードを実施する予定です。

作業内容:

Workspace ONE UEM 2005 アップグレード作業

日程:

2020年 7月 13日(月) 23時 ~ 7月 14日(火) 3時

ご注意事項

- ページ右上にある数字は **2005** 機能追加されたバージョンです。
- この文書に記載された製品の仕様ならびに動作に関しては、各社ともにこれらを予告なく改変する場合があります。
- 本文中にあるシステム名、製品名、およびロゴ等は各社の商標または登録商標です。

ありがとうございました

WiZaaS